

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出
領域代表者	西田 眞也 （日本電信電話株式会社NTTコミュニケーション科学基礎研究所・人間情報研究部・主幹研究員）
研究期間	平成27年度～平成31年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、理工系、心理学、脳神経科学の分野を融合し、多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出を目指した新学術領域としてふさわしい提案である。新学術領域研究「質感認知の脳神経メカニズムと高度質感情報処理技術の融合的研究」（平成22～26年度）を通して、それらの分野の融合の成果の上に立脚し、本研究領域によって今後のさらなる発展が期待できる。</p> <p>研究組織は、質感に関する神経メカニズムや心理物理メカニズムの解明から、質感を用いたイノベーション研究までを行う体制が構築されている。質感の理解は、今後の基幹技術となる可能性があり、産業界への発展性が期待できる。日本人が感じる質感が、欧米人にはない質や価値の認識を含んでいるとする考え方は、国際競争下でも大きな強みになり得る。</p> <p>一方で、12の計画研究の有機的な繋がりを一層促進するための工夫や、各計画研究の連携のさらなる強化が望まれる。</p>